

福寿園だより

Vol. 79

令和元年10月10日発行



- ◆特別養護老人ホーム福寿園…………… 定員100名
(うちショートステイ20名)
- ◆ケアハウスさくら荘…………… 定員30名
- ◆福寿園デイサービスセンター…………… 定員42名
- ◆福寿園ヘルパーステーション…………… (うち認知型12名)
- ◆福寿園居宅介護支援センター
- ◆原町東地域包括支援センター

編集
発行

社会福祉法人 南相馬福祉会
福寿園広報委員会

〒975-0033 福島県南相馬市原町区高見町2-70
TEL (0244) 25-2811
FAX (0244) 25-2812
URL <http://minamisomafukushikai.or.jp>
MAIL fukujuen@chive.ocn.ne.jp



実習生と。昔の話を教えたり、
新しいことを教えてもらったり…



おやつも毎日の
楽しみの一つ。
「あんたもどうだ？」



好きな物を選んでお買い物



とっても
楽しみな
毎月の
アニマルセラピー

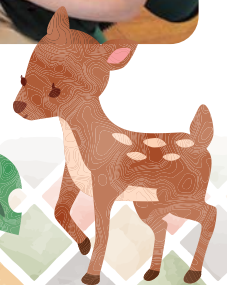


洗濯物
たたみは
任せて!



爪を切ってもらうのは嬉しいね～

ご利用者の生活の一コマを写真に収めました。
これからも皆さんが充実した毎日を過ごせるよう、
職員一丸となって頑張ります!



敬老会



9月行事 9月11日(水)に「敬老会」を行いました。

当日のご利用者では、傘寿(80歳)2名、米寿(88歳)4名、卒寿(90歳)2名、白寿(99歳)1名、百寿(100歳)1名、合わせて10名が賀寿を迎えられました。

賀寿状贈呈式で名前を呼ばれると、少し緊張しながらも笑顔で賀寿状を受

ハッピーデー (福寿園デイサービス)

け取っていらつしゃいました。

また、当日は敬老会のお祝いに、さくら保育園より園児54人と先生5人をお招きし、お遊戯を披露していただきました。ご利用者からは、「一生懸命踊っている姿がとってもかわいい。」「ひ孫みたい。」と大好評でした。

お遊戯の後、手作りメダルをご利用者一人ひとりの首に掛けてプレゼント。最後に「肩たたき」の歌を歌いながら、ご利用者の肩をたたいたり手のひらマッサージで触れ合い、ご利用者の皆さんにとって思い出に残る一日となりました。

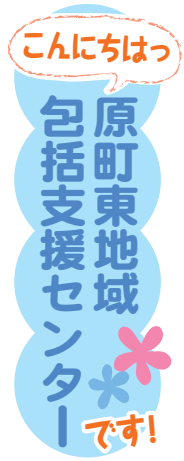


出前講座

ケアハウス さくら荘

相馬野馬追「再発見」講座を9月26日(木)、講師に岩橋光喜様を迎え、相馬野馬追の起源や南相馬市との関係などについてお話を伺いました。

講座のタイトル通り、相馬野馬追の「再発見」の機会となりました。



事例検討会で学び得るもの

当センターでは介護支援専門員を対象とした事例検討会の開催を計画しております。昨年より手法等について勉強しています。その一環として、9月13日(金)に相馬市地域包括支援センター主催の介護支援専門員定例会で行われる事例検討会に参加させていただきました。相馬市地域包括支援センターでは、《野中式》という手法で事例検討会を実施しており、事例についての丁寧な情報確認、参加者からの質問により事例の背景を明らかにし、助言を取り入れて課題を整理していく司会進行は見事でした。

「事例検討会は敷居が高い」、「事例を提出することを負担に感じる」等の課題もありますが、第一回目の開催に向け、準備を進めてまいります。相馬市地域包括支援センターの皆様、参加されていた介護支援専門員の皆様、ありがとうございました。

家族介護教室を開催しました!

9月30日(月)、14時より道の駅南相馬において、株式会社彩葉代表大井千加子氏に「認知症を理解しよう」楽し



く学べる介護のコツから」と題して講話をいただきました。大井氏の講話は「分かりやすく丁寧」と好評で、昨年度に引き続き講師をお願いしました。グループに分かれ、認知症と思われる方への声掛けを実際に行いましたが、「認知症の方は、周囲に対して不安や恐怖を抱いている」と学んだ後の声掛けと学ぶ前の声掛けとの違いがはっきりと感じられ、参加者の皆さんは、「これからは今日学んだことを生かした声掛けを心掛けたい。」と、とても有意義な介護教室となりました。

職 | 員 | 内 | 部 | 研 | 修

9月13日(金)、南相馬福祉会の全ての事業所から200名近くの職員が参加し、フロアにて内部研修会を行いました。

「介護事故と記録の書き方」その説明、その書き方で大丈夫?」と題し、講師に、福祉リスクマネジメント研究所長の烏野猛氏をお招きしました。烏野氏は、介護事故に関する裁判や、介護施設における災害時のリスク等を専門に研究している方です。

研修では、介護事故が起こった時の記録の書き方や説明のポイントを主に学びました。

説明を受ける家族と説明する職員との間で「描くイメージ」に食い違いが生じないよう、双方の『頭の中の絵』を共通のものにしなければならぬ等、参考になる講義をいただきました。参加した職員からは、「事例が分かりやすく、とてもよかったです。家族の方と職員のイメージを一致させるのが大切。」「家族との関係も大切だが、その前に職員同士も職種によってイメージが違うことがあるので、合わせていきたい。」との感想が聞かれました。今後、様々な研修を通して、法人職員の資質向上に努めたいと思います。



福祉体験学習



原町第二中学校の生徒の皆さんが福祉体験学習に来園しました。例年この時期は区内各中学校の福祉体験学習を受け入れています。

生徒の皆さん、初めは緊張の面持ちでしたが、ご利用者から話しかけられ、一緒に体を動かしたり将棋や脳トレ問題を解いたりすることで、徐々に笑顔になり、ご利用者と会話が弾んでいました。

福祉体験学習を通し、介護の仕事に興味を持ってもらえると嬉しいです。



- 特別養護老人ホーム福寿園
- アニマルセラピー しっぽの会様
- サマーショートボランティア
- 久米 智皓様・久米 健瑠様
- 車椅子清掃、メンテナン
- SOMPホールディングス様
- 洗濯たたみ
- ひがし地区福祉委員会様
- *福寿園デイサービスセンター*
- 合唱 原町女声合唱団様
- マジック マジック研究会様
- 傾聴ボランティア いちご会様
- 歌、お遊戯 さくらい保育園様
- 軽介助 鈴木 良子様
- *ケアハウスさくら荘*
- 賀寿祝う会
- 三弦会・オカリナ愛好会様
- 歌、踊り 石神民謡会様
- 歌のつどい みなみ地区福祉委員会様
- 元氣モール
- NPO法人はらまちクラブ様
- 太田 一俊様 (原町区牛越)
- 古内 和子様 (小高区北鳩原)
- 横山 里子様 (原町区北長野)
- 大内 敏文様 (原町区大甕)
- 但野 貞子様 (原町区大町)
- 舟山 正和様 (原町区桜井町)
- 寄付金

ボランティヤ (6月16日～9月15日)

寄付 (6月16日～9月15日)

いつもありがとうございます
ごぞいませ

『第19回福寿園・さくら荘合同芸術祭』のお知らせ

○出前講座
健康福祉部健康づくり課
佐藤奈緒美様

○夏祭り 小西 好子様

【開催期間】
11月14日(木)～11月29日(金)

【展示場所】
特別養護老人ホーム福寿園
エントランス

作品募集のご案内

皆さんの作品で
福寿園エントランスを
飾りましょう!

*ご利用者・ご利用者のご家族・職員・職員の家族の皆様、芸術祭に作品を出品してみませんか?塗り絵・俳句・手芸品・工作等、一人何作でもOKです。出品の際は職員にお申し出ください。

【作品募集期間】
11月1日(金)～11月13日(水)

*出品された方には記念品を差し上げます。

編集後記

暑い夏が過ぎ、あっという間に朝晩めっきり涼しくなり、食べ物美味しく秋がやってきました。食欲の秋だけでなく、スポーツの秋、読書の秋と、『秋』はさまざまに形容されますよね。そんな『秋』を満喫しましょう。